

本の森 4月号



丹波篠山市立中央図書館通信 No. 200 2022年4月1日 発行

今月の特集

春らんまん

新たな生活が始まった人も、これまでと変わらない環境の人も、新たな気持ちになれる季節の到来です。新しい事に挑戦するもよし、これまでの生活を継続するもよし、ウキウキした気持ちにさせる春を満喫したいものです。

厳しいニュースに心傷む日々ですが、図書館でのひと時、暖かな気持ちに包まれていただけると幸いです。

『花桃実桃』

中島 京子 著 中央公論社 Fナカ



新年度が始まったばかりの季節に、無情にも43歳でリストラされてしまったシングルの茜^{あかね}。思いがけず父の遺産としてボロアパート「花桃館」を相続し、住込みの管理人として生活することにしました。ところがそこには個性豊か(?)な住人がひしめき合っていて、しばらく茜は翻弄^{ほんろう}されてしまいます。

家賃長期滞納のミュージシャン、父の元愛人、3人の子を抱えたシングルファーザー…なかなかの役者揃いの登場人物に初めはどうなることかと茜の行く末に不安を覚えています。

43歳までまともなプロポーズを受けたことがなかったにもかかわらず、中学生にプロポーズされてドギマギしたり、家賃の取り立てに行ったミュージシャンにはぐらかされたり、事件にはことかかない本著ですが、なぜかほっとする昭和感満載の作品です。 (小土井)



マークデザイン
加藤昌男

文学の 棚から



『火守』

リウ ツーシン
劉 慈欣著 KADOKAWA 923. 7リ

この本は、星と海そして月と太陽という壮大な時空のなかで、人間の一生を扱った物語絵本です。ヒオリという少女の病を治す方法を探し、主人公サシャは老人に教えを乞い、月に登ります。登場人物は、少年、船長、老人の3人だけ。自然界に存在する材料を用いて、人力で月に登る様子や火を扱う様は、現代社会で忘れられがちな人本来の姿が描かれています。

本書は、中国のSFの名手劉慈欣が、電車のなかでiPadを使って一気に書き上げたという作品です。『三体』をはじめとする同じ作者の作品とは思えないほど異色です。更に日本語版は、原作とはちがう西村ツチカの絵と池澤春菜の翻訳で、静かに燃える火のような世界観が表現されています。人間の使命について考えるきっかけになる本です。(栗田)

『ある特別な患者 医師たちの人生を変えた患者たちの物語』

エレン・デ・フィッサー 著 サンマーク出版 490. 14フ

2019年オランダ。科学ジャーナリストの著者は、医療従事者のインタビューをもとに「自分の人生を変えた一人の患者」を新聞に寄稿した。穴埋めで始まった短期連載予定のコラムは結果として約2年間連載されることとなる。登場したのは総勢130人。本書には、その中から87編の物語が掲載されている。

コロナ禍・虐待・脳死・臓器提供・難民・癌・エイズ・安楽死……。語り手それぞれがバックグラウンドを持ち、彼らでなければ経験しないであろう現実と向き合い、過ちを認め、気づき、学んでいる。救えなかった命、覆くつがえされる観念と後悔。「安楽死」が合法化されているオランダならではの苦悩も生々しい。病やまいと向き合い患者と共に戦う彼らもまた「人」なのである。あたりまえの有難さと、人としての生き方が語られるノンフィクション。

今この時、世界中のコロナ禍や紛争の現場に、第一線で活動される医療従事者の方々に改めて心から敬意を表したい。(酒井)

一般書の 棚から



レファレンスの 棚から

こんなレファレンス(調査依頼)がありました 「篠山軽便鉄道について知りたい」

「篠山町七十五年史」(B1/O3/サ)「福知山線今昔物語」(W1/OO/カ)などによると、大正4年9月に乾新町の仮停車場から篠山口駅近くの弁天停車場までの間で開通しました。車両は小さく「マッチ箱」と呼ばれ、ゆるい勾配こうばいでも乗客が車両を押すことがあったそうです。その後篠山口駅と福住駅間の国鉄篠山線の開通と同時に廃線となりました。

漫画家水木しげるは16歳の頃篠山に住んでおり、この軽便鉄道などに乗って大阪の学校まで通っていたことが「ほんまにオレはアホやろか」(B726ミ(庫))で綴られています。(西澤)

Y onde Mite

よ ん で み て

『Yonde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します

『いのちがけ』
砂原 浩太郎 著 Fスナ
2018.02 出版



この作者の本(3冊)に今年初めて出合った。端正な文体と感動の結末が魅力。本書はデビュー作。次回作が待ち遠しい。時代小説がお好きな方におすすめ。

ペンネーム YOU

『医者がすすめる
クッキングリハビリ』
丸田 淳司 著 494.78 イ
2021.09 出版



料理は無意識のうちに色々な筋肉を使っているようだ。レシピと共に筋肉や脳の働きも掲載されている。認知症予防にもよさそう。

ペンネーム 予備軍

『平常心のコツ
「乱れた心」を整える93の言葉』
植西 聡 著 159ウ
2013.12 出版



『和顔愛語』を心がけたいと強く思った一冊。心を安定させるためのものの考え方や実践方法が紹介されている。

ペンネーム 然(ぜん)

『極上の孤独』
下重 暁子 著 159シ
2018.03 出版



最後が、他人から見て孤独死であっても、本人にとっては素晴らしい人生だったかも。ひとりを愛する著者が、本当の孤独について語り尽くした一冊。

ペンネーム 周五郎ヴァン

『ピンボーでも楽しい定年後』
森永 卓郎 著 367.7モ
2018.10 出版



年金の範囲で生活できる技術や態勢とともに、生きがい作りのヒントが紹介された本。定年後を楽しむためのノウハウが満載。参考になります。

ペンネーム ふきのとう 路の臺

『一万円選書
北国の小さな本屋が起こした奇跡の物語』
岩田 徹 著 024.0イ
2021.12 出版



特製カルテを元に、その人にあった一万円分の本を選書する。北海道砂川市のいわた書店の「一万円選書」を疑似体験できる一冊。私もお願いしてみたいと思った。

ペンネーム Marron



映画上映会のお知らせ

入場無料
申し込み不要

「イエスタデイ」

2019年 イギリス・アメリカ
116分 日本語字幕

- 監督 ダニー ボイル 監督
- 出演 ヒメーシュ パテル 他 出演
- 日時 4月8日(金) 14:00~16:00
4月9日(土) 15:00~17:00
- 場所 中央図書館 視聴覚ホール

幼なじみのエリーに支えられながら活動を続ける売れないシンガーソングライターのジャックは、ある日バスにはねられてしまう。目を覚ますと、そこはビートルズが過去に存在していない世界だった。彼はビートルズの曲を自分の作品として歌いスターダムへ駆け上がっていくが……。ビートルズの名曲が全編を彩る音楽ラブ・ストーリー。

図書館カレンダー 4月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4 休	5	6	7	8	9
10 図書館の日	11 休	12	13	14	15	16
17	18 休	19	20	21	22	23
24	25 休	26	27	28	29	30

【中央図書館】

- ★ 毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日
全館：4/10(日) 終日
- ★ 「丹波彫刻会作品展覧会」
展示ホール：4/19(火)～4/24(日)
- ★ 「篠山書道協会作品展覧会」
展示ホール：4/29(金)～5/1(日)
- ★ 「映画上映会」
視聴覚ホール：4/8(金)・9(土)

※各種イベントは状況により行わない場合があります。ご了承ください。



日頃より丹波篠山市立中央図書館をご利用いただき、誠にありがとうございます。近年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、図書館も臨時休館や利用制限など、皆様にたいへんご迷惑をおかけしました。

さて、日本遺産、日本農業遺産、ユネスコ創造都市である丹波篠山市は、地方都市の発展モデルとして全国から注目を浴びています。その中で図書館は、ふるさと丹波篠山の知の拠点として、さらに「本と出会い 人と出会い 学びを楽しむ 知の広場」の実現を目指し、今年度も図書館サービスの充実に努めてまいります。

丹波篠山市立中央図書館 館長 小畠 理三